

「人権講話」を行いました！！

11月16日(木)に『春の香り～脳腫瘍と闘い18歳で逝ってしまった最愛の娘へ』から、学ぶ命の授業」と題した人権講話を実施しました。講師は滝中学校・滝高等学校の坂野貴宏先生です。

坂野先生は、当時18歳の次女春香さんを脳腫瘍で亡くされました。春香さんは、小学校6年生のときに頭痛を訴え、脳腫瘍が見つかり何度か手術をしましたが、再発し2020年12月に帰らぬ人となりました。

春香さんの亡くなった後、7年2カ月に及ぶ闘病と看護の記録を描いた書籍「春の香り 脳腫瘍と闘い、十八歳で逝ってしまった最愛の娘へ」(文芸社)の発刊や高等学校などでの講演を通して、命の大切さを伝える活動を行ってまいります。

今回の講話の中で、院内学級での演奏会の様子や亡くなる1か月前まで絵本の制作をしていたことなどが紹介され、限りある命を一生懸命生きた春香さんのさまざまなメッセージが伝えられました。

話が進むにつれて複数の生徒が目に涙を浮かべ、命の尊さを改めて実感する時間となりました。



(以下は、生徒の感想の一部です)

最愛の娘さんをはやくにむくしてしまつた体験を私たちに娘さんの「5つの生きること」とともに話をしていただいた。とても感動しました。私は「生きることは人の役に立つこと」という春香さんの言葉をうけて、これから人の役に立つことをしようと思つた。ささいなことでも、誰かの役に立つということ。今回の講話を通ひ字はせていただいたので、自分からどんな行動をおこそうと思つた。また、春香さんも自分にとって「最後の」人の役に立つという言葉にしていたところがとてもかっこよく、強ひびと思つた。私は春香さんを尊敬しつづ

ふさ頃より重い病気とたたかひ続けた春香さんの話を私は、もし自分自心か春香さんの家族だったと考えると聴いていました。

演奏会の動画では、闘病中に色々な歌を皆で歌うシーンが今、高校生私とは比べものになるまいくらい大人びていて、感動しました。

私が今日の講話を聴いて一番印象に残っている所は、

「死にたい・死にたい...死にたい」と春香さんがおっしゃっていたというお話をされた所です。

家族の人だから「死にたい」なら「死にたい」と言つてほしいんだよ。と坂野先生へ伝えた時に、

「生きたい」と自分の意見を強く主張した春香さんが「死にたい」と叫びたくなるほど苦しい闘病生活を送っていたのだと改めて感じました。私に今できることを考えるべきこと

何かに早く考えた方がいい。

坂野先生の春香さんへの気持ちはもちろんおごいけどそれ以上に先生がお話の途中に気持ちはあふれて少し泣いてしまったとき、私もおごく泣きそうになりました。病気とたたかうのはつらい、悲しいけど、いろんな事があり、その中で人生とは、を見つける春香さんの「生きたい」という気持ちが話を聞くだけでとても伝わってきました。自分の今をこれから大切にしていきたいです。その大切にしていく中で自分の人生とは、も見つけていけたらいいなと思つていました。

話の内容、歌、手紙、本、紙しはい、全てが「生きてることの
幸せ、ありがたさを感じました。今元気に生きて、当たり前
のように生活できていることがとても幸せで、恵まれているなと
思い、も、とその事に感謝するべきだ」と思いました。
看護師を目指す私にとって、今後同じような状況を目の前
にすることがあると思うけど、私自身も、今後関わる人たちに
春香さんのように、自分の生きる意味やありがたさを感じ、
後悔のないようにできたらいいなと思います。

本も気に入ったので「書店で見かけたなら手に取りたいです」。

保健の授業や YouTube で闘病している子のお話を見たこと、聞いたこと
はあ、たいてい実際に家族の方からお話を聞いて、その時の感情だ
たり、春香さんの様子からちゃんとリアルと知って学ぶにはなった。

春香さんは最後の最後まで自分の役割りや人のためにできることを
探していて、すばらしいと尊敬しました。

私の話をするたびに思い出してしまうことがあるのにも関わらず、私たちの
ために貴重なお話をしてくださった坂野先生に感謝しています。

「不幸と不幸に気がつかないこと、私は自分の事を不幸だ」と思っ
ていました。しかし、今回の講話を聞き、幸せに気がついて
いる人がいるのだと気づきました。その中で「これから何と
視野を広くもち、小さな幸せをたくさん見つけていこう」と
手術後の春香さんの「死なない」の裏にある「生きていこう」と思
うことと、胸が締めつけられました。

1日1日を大切に生きていこうと決まっています。

春香さんが、選択をしなければならぬとき、「生きて」と言われたことに、
春香さんの生きることに対する考え、人生を通じて春香さんが見つけたものなど、
たくさん込められていると感じました。たくさん苦しい経験をした春香さんが
自分の軸をしっかりと持っていて、それをつらぬいたのがすごいと思いました。
私も様々なることを考えて生きて、これから学ぶながら生きていし、春香さんから
教えていただいたこともたくさんあって、自分らしく生きていける。お話をきかせていただき、
ありがとうございました。

「シュークリームを食べた時に「生きる価値が見い出せた」
と言っていたというお話を聞いて、以前闘病生活の
動画で見かけたことを思い出しました。(ユチューブ)
お手紙を読み上げる場面では坂野先生の声や
感情から涙が流れては聞けませんでした。
毎日があたり前ではないことを意識して
生活していきたいです。ありがとうございました。

今、健康に生まれていることが当たり前では無いということが改めて
気が付きました。病気になるととても辛く、とても苦しい思いをわか
れているのに、ま、ま、自分らしく前向きに生きていけるのは
安心感動します。どんな事があるとしてもくじけずに頑張ろうと
いう気持ちになります。毎日毎秒生まれているの奇跡で
命はどれだけ大切か。今回の講話を通じて感じさせられました。